

平成 26 年度 調査研究委員校

## 【茂庭台小学校】

《本校の OJT キーワード》

学年会 OJT

授業づくり OJT

仲間づくり OJT

P4C OJT



みんなで茂庭台の歴史を探った「茂庭台フィールドワーク」

1 本校の OJT

2 OJT 実践

3 OJT 実践の振り返り

4 OJT に取り組んで

# 1 本校のOJT

- 『児童も先生も楽しい学校』を合い言葉に、「チーム力の向上を目指し、みんなで楽しく学び合い、様々な課題を解決し、教育目標の具現化を図るもの」と位置付ける。
- チーム力と教師の力量の向上を目指し、以下の4つの観点を基軸として推進する。
  - ・教育課程の趣旨を踏まえ、実践的に研究する。
  - ・学習指導の技術を磨き、指導の効果を高めるため、実践研修を設定する。
  - ・職員の希望を取り入れ、得意分野の指導法の紹介や研修の伝講などの場を設定し、学び合う。
  - ・教職員の健康、児童の指導等に明るい態度で臨めるようレクリエーションを設定する。

## ファシリテーターの働きかけ

- 全体のファシリテーターは**研究主任**。
- 5月の研究全体会后に、研修希望調査を行い、計画を立てる。  
研修内容として次の7つの内容を柱に設定し、本校OJTをスタートさせる。
  - ・校内研究・・・ 全員授業で学び合い。(生活科・総合的な学習の時間)
  - ・一緒にフレ研・・・フレッシュ先生と一緒に教科主任から学ぶ。
  - ・ICT関係・・・ 使用法や利用法の未知の分野について教え合う。
  - ・p4c関係・・・ ハワイから来校された先生、ハワイへ視察に行った先生から学ぶ。  
みんなで実践し合う。
  - ・研修希望から・・・凶工の指導、縄跳び、表現運動、茂庭台フィールドワーク  
レクリエーション、料理対決 など。
  - ・伝講関係・・・ 研修会、研究会などの伝講
  - ・その他の研修・・・Q-U分析、ハートスキルプログラムの指導計画、  
カウンセラー研修、漫才披露 など。
- 講師役を決め、**全員参加型**と**希望参加型**に分け、全職員に提案し、活動を開始する。
- 一学期終了時に、「OJT振り返りシート」に感想や意見・希望などを記入してもらう。  
「新たに取り入れたいOJTの活動」に関しては、二学期に実施できるように計画を立てて実践する。

## 学び合いの意識化

- 「**学年会**」と「**授業づくり**」を核として、**日常的に学び合うことがOJT**であることを共通理解し、進めていく。
- 毎月の運営部会で、OJT研修の計画や実践について話題にし、職員のニーズをとらえ、必要な研修を実施するという方向性を確認して進める。
- OJT実施後に感想を述べ合うとともに、振り返りシートに記入してもらい、可視化することにより、相互評価の場として、学び合う意識を高め、次に生かす。

## 2 OJT 実践

7つの内容から4つのキーワードを確定し、本校 OJT を推進していく。

### OJT キーワード

#### 学年会 OJT

- 日常的に、どこでも行う OJT。
- 年度当初に、重点目標(聴く・話す力の向上)達成のため、各学年で目指す児童のよりよい姿を確定させ、指導の方針を決める。
- 1年間を見通して話し合い、具体的な活動計画を作成し、学び合いを進める。

- ・学年・学級経営      ・明日の授業の進め方
- ・校内研究教科である生活科・総合的な学習の時間と校外学習の計画 など

<その他の内容例>

- ・児童の実態把握      ・行事の計画      ・教室経営
- ・教材研究・授業づくり      ・学年だより作成
- ・授業参観・懇談会の持ち方      ・学力・体力向上
- ・生徒指導諸問題の解決      ・会計簿の作成
- ・学級目標の設定の仕方 など

- 児童の下校後、1～3時間にも及ぶことがある。



職員室での様子



学年会の様子

### OJT キーワード

#### 授業づくり OJT

- 校内研究主題「体験に根ざした言葉を大切にする、生活科・総合的な学習の時間の授業づくり」を進めるため、次の通り推進する。
- ・年度当初、生活科と総合的な学習の時間の単元計画を作成し、授業づくりを進める。
- ・体験活動を重視した校外学習の年間計画と重点目標達成のための日常的な指導の計画を立て、授業づくりを行う。
- ・1年から6年までと特別支援学級を合わせた7コマの研究授業を設定する。



授業検討会

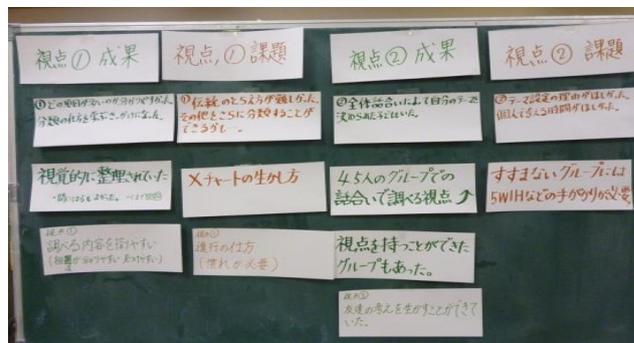


3グループに分かれてのワークショップ

- ・授業を参観し合い，参観の視点や児童の姿に着目し検討会（ワークショップ型）を実施し学び合う。司会・話合いの内容の発表は輪番で実施。成果と課題を共有し，日常に生きる授業づくりを目指す。
- ・指導案検討は学年部で実施。検討会の司会・記録等も同学年部が分担して進める。



グループごとの話合いの結果の発表



各グループから出された成果と課題

## OJT キーワード

### 仲間づくり OJT

- 「児童も先生も楽しい学校」を目指し，同僚性を高める楽しい活動を行い，互いの良さを発見し合い，認め合い，学び合いの意識を高める。  
実際の活動は，希望調査を行い，実施する。
- 内容によって，全員参加型と自由参加型に分け，計画の詳細について全員に呼び掛ける。

#### 【漫才披露】

- ・仲間づくり OJT のスタートは，転入職員歓迎昼食会での漫才披露。
- ・「教育に笑いを」，「職員の聴く・話す力の向上」を目指している。
- ・テーマは「茂庭台小学校の紹介」。
- ・新年昼食会では「新年の抱負」。何組かが披露。

#### 【料理対決】

- ・夏期休業中に，4グループに分かれ，若手がリーダーとなり，全員参加で料理を作り，味を競い，楽しく会食する。
- ・栄養士が審査委員長で給食調理員も審査に加わり，トップ3を決定。
- ・その後，全員で家庭科室の使用法，調理実習の進め方などを確認し，児童がより使いやすくなるよう整理整頓し終了する。
- ・餃子自慢大会，鍋対決，カレー王選手権，サバイバル飯作り，中華ちまき作り，餅つきを実施。
- ・調理の過程での話題は多岐に渡り，職員間の親交を深め，楽しい時間を過ごす。



料理対決「パスタ決戦」(8月)



餅をついて会食・1学期を振り返る(10月)

### 【茂庭台フィールドワーク】

- ・ 夏季休業中に、全員参加型で実施。
- ・ 茂庭台地区の石碑や神社などの歴史的建造物や、地域内の山・川・ダムを散策。

### 【表現運動】

- ・ 表現運動の指導法を学び合い、バレーボールやバドミントンなどのレクリエーションを計画中。



茂庭台フィールドワーク(8月)

## OJT キーワード

### P4C OJT

○重点目標達成を目指す「考える力を高める取組」の1つとして「p4c(子どもの哲学)」OJTを進める。

- ・ 豊田先生(東京工業大学特任准教授)やハワイから来校された先生方から p4c を学ぶ。
- ・ 各学級ごとに、いろいろな場面(教科・道徳・特別活動など)で「p4c」を実践し、その様子について話し合う。
- ・ ハワイ視察の職員の報告会を行う。
- ・ 職員全員で「p4c」を実施する。  
テーマは「幸せについて」
- ・ 「p4c」を実施し、その有効性を探り、成果と課題とを明確にして、児童の「考える力」の向上を目指す。



職員全員で P4C

テーマ「今年よかったこと・うれしかったこと」  
「幸せについて」



豊田先生の P4C セッション  
テーマ「地球はどうやってできたのか」



ハワイの先生方のセッション  
テーマ「わたしの将来の夢は何か」

## 3 OJT 実践の振り返り

### OJT 実践内容

「1学期間の OJT についての振り返り」

(H26.10月初旬実施)

### 振り返り方法と留意点

### 振り返りシート

- ・ 1学期末に、これまでの OJT についての振り返りを行う。  
感想や意見・今後の OJT について記入してもらう。
- ・ 全員分のシートを集約し配布する。

### OJT 資料

<振り返りシート>

#### 1 学期 OJT（同僚間の学び合い）の振り返りについて

1. 校内研究や様々な研修，そして学年会なども含め，学び合いの場は多くありました。その中で教えてもらってよかったことと思うことや学ぶことができてよかったと思うことを記入してください。
2. 今後に生かしたいと思います。次の研修内容の感想を記入してください。
  - ・ ○○研修
  - ・ ◇◇研修
3. 今後の研修に取り入れてほしい内容（希望研修として）があれば記入してください。

※次ページに実際のシートの様子を掲載。

## 1学期のOJT（同僚間の学び合い）の振り返りについて

1, 校内研究や様々な研修, そして学年会なども含め, 学び合いの場は多くありました。その中で, 教えてもらってよかったと思うことや学ぶことができてよかったと思うことを記入してください。

- ・ITスキル関係はいろいろと教えてもらおうとありがたいし, その逆もありだと思えます。できない, 分からないと決めてかからず聞くことが大事ですね。
- ・スクールカウンセラーの先生との研修で, 心の発達について知ることができて, とても勉強になりました。原因がよく分からないけれど, 悲しそうだったり, 辛そうだったり, もやもやしている子どもの気持ちを考えました。
- ・家庭科室の効率的な使い方が分かって参考になった。
- ・マーブリングや土遊びなどの具体的な技法について。
- ・地域の自然を教えていただき勉強になった。
- ・女子体育指導者連盟のサマーセミナーは, 体育や学習発表会に十分生かすことができ有効だった。
- ・特別支援教育コーディネータの〇〇先生には, 気になる児童の接し方について助言してもらい, 大変助かった。
- ・また, 交流でお世話になっている◇◇先生には, 学級経営の仕方や対応の難しい児童への接し方を教えていただいた。生徒指導の仕方が, 今後の課題である。
- ・学年会で, 以前に1学年を持ったときの資料などをたくさん見せていただいたり, 話を聞いたりして, とても参考になった。“すぐ使える情報”だったので。
- ・p4 cの研修に行かせてもらい大変勉強になった。日々の先生方の会話や相談する中で学ぶことの方が多く充実していた。
- ・パソコンに関して, 詳しい先生に教えていただきとても助かった。職務の効率化に繋がった。
- ・調理関係のことは普段ほとんどやらないので, いい経験になった。チャレンジしたくなった。
- ・教採の模擬授業対策を多くの先生方に見てもらえたことがとてもありがたかった。

2, 今後に生かしたいと思います。次の研修内容の感想を記入してください。

### 茂庭台フィールドワーク→

- ・総合や生活科の学習に生かせることをたくさん知ることができた。
- ・研修以外では行くことは難しい地域や石碑などを教えていただきためになった。
- ・何気なく車で通っている茂庭地区は, 意外と歴史的価値がある名所が多いということが分かった。
- ・梨野にあんな未開の地があるとは思わなかった。
- ・初めて知る場所も多くあり, 茂庭台再発見ができてよかった。
- ・茂庭台にあんな場所があるのに驚いた。すごく楽しめた。
- ・学校近辺だけでなく, 広い視野で見ることにより考え方に余裕が出て, 行動範囲も広がった。

### パスタ決戦→

- ・またこういう企画をぜひ! とても楽しいひとときだった。来年もぜひ! (多数)
- ・先生たちとの交流の機会が持ててうれしい。
- ・先生方と一緒に取り組むことでとても楽しく家庭科室の研修ができた。
- ・家庭科室の使い方を覚えるだけでなく, いろいろな学年の先生方や職員の方と仲良くなれてよかった。
- ・オリジナルの美味しいパスタを作ろうとグループで話し合い, 一緒に買い物をし, 全員で調理する過程すべてが楽しかった。
- ・リーダーを中心に協力して取り組めた。
- ・同僚間の結束を強くすることができた。〇先生と◇先生には, ベテラン主婦の知恵を教えてもらった。
- ・グループで事前にどんなパスタにするか話し合ったり役割分担したりして団結できとても楽しかったです。どのパスタもとても美味しかったです!
- ・家庭科室の使い方が分かったのがよかった。夏の思い出になった。

3, 今後の研修に取り入れてほしい内容 (希望研修として) があれば記入してください。

- ・校内デジタルコンテンツの紹介と利用法 (デジタル教科書など)
- ・図工の様々な技法を体験したい。(モダンテクニック)
- ・毛筆の指導について細かいところまで知りたい。(小筆・墨・余った墨液のことなど)
- ・〇〇先生のもと, 教職員全員でのp4 c
- ・5, 6年生の調理に出てくる材料 (ほうれん草・卵・ジャガイモなど) を使った料理大会
- ・学年部毎, 教職員の学習発表会 (音楽的表現・劇的表現・スポーツ系など)
- ・ほめことばのシャワー (Q-U結果の検討会で話があっが, 茂庭台での実践をビデオ等で見てみたい)
- ・スポーツをしてリフレッシュできる研修をしたい。
- ・職員間の絆が深まるようなものを作ってほしい。
- ・理科準備室・音楽準備室・教材室の探検・道具の活用法など

## OJT 実践内容

「職員の p 4 c」

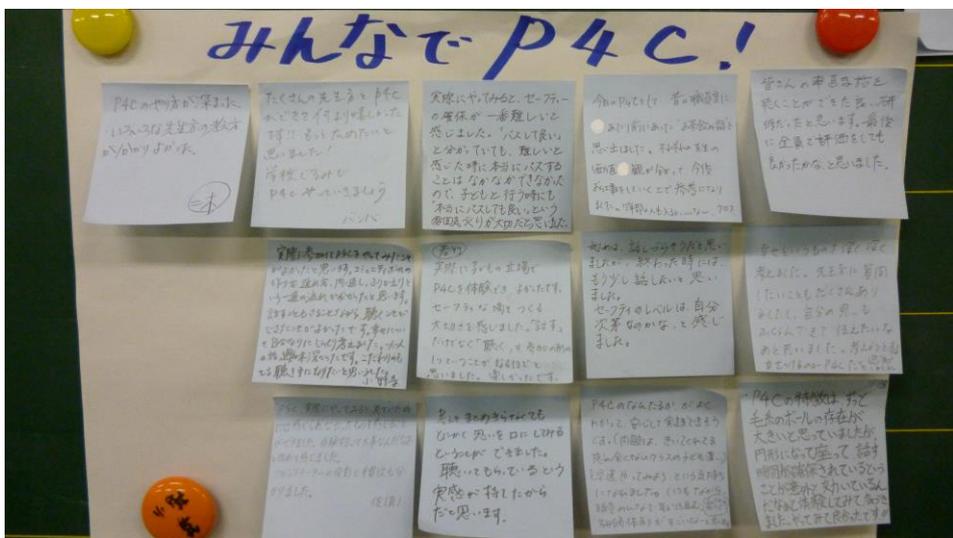
(H26. 11 月実施)

テーマは「今年よかったこと・うれしかったこと」「幸せについて」

## 振り返り方法と留意点

- ・ p 4 c 実施後、感想等を付箋紙に記入してもらい、掲示板に貼付する。

## OJT 資料等



《先生方の声》  
たくさんの先生方と p4c ができて何よりうれしかったです!! もっと広めたいと思いました。学校ぐるみでやっていきましょう。

《先生方の声》  
今日の p4c をして、昔の職員室にあたり前にあった“お茶のみ話”を思い出しました。  
それぞれの先生の価値観が分かって今後仕事をしていく上で参考になりました。

《先生方の声》  
幸せというものを深く深く考えました。先生方に質問もありましたし、自分の思いもふくらんできて伝えたいなあと思いました。考えようとする力をつけるのが p4c だと認識しました。

## 4 OJTに取り組んで

### 成 果

- 本校の課題解決のため、職員のニーズや希望を取り入れ、OJTの計画を立て、全員参加型と自由参加型に分け、計画的に実施できた。
- OJTの振り返りの方法として、これまでは学期末に「振り返りシート」を記入してもらい、その結果を全員に知らせるという方法をとってきた。  
今年度は、この方法に加え、OJT研修後に「付箋紙」に感想等を書いてもらい、掲示し読み合うことで共有することができた。短時間にでき、可視化することにより全員に伝えることができ有効な方法であることを確認できた。  
また「OJT実践シート」や「学び合いカード」など新たな方法を知ることができたので、次年度に生かしたい。
- 日常的に行われている「学年会・学年部会 OJT」での学び合い・伝え合いが日々の実践に即、役立ち、重要な時間であることが確認された。分からないことはすぐに聞き、納得して進めるとよいことが意識化された。
- 「児童も先生も楽しい学校」を合い言葉に、「仲間作り OJT」を実施してきたが、全職員で楽しく進めることができ、同僚性を高めることができたといえる。

#### 《先生方の声》

日々の先生方の会話や相談する中で学ぶことが多く充実していた。

(5年経験者)

#### 《先生方の声》

料理対決は、家庭科室の使い方を覚えるだけでなく、いろいろな学年の先生方や職員の方と仲良くなれてよかった。

### 今後に向けて

- みんな学ぼうとする意欲は高いのだが、多忙であるがゆえに、OJT研修の時間が取れないという状況にある。1学期末の「振り返りシート」の中に実施したいOJTが書かれていた。希望者少数のOJTは、まず自由参加型で計画実施し、徐々に学び合いの輪を広げていきたい。
- 調査研究委員会で、複数の振り返りの方法を教えていただいたので、次年度、効果的に取り入れていきたい。
- 研修の7つの柱の「一緒にフレ研」と「ICT関係」のOJTは、時間確保が難しく計画通りには実施できなかった。そのことにより一人一講師の実施が難しかった。みんなで教え合い、学び合うことを基本とした進め方を実践していきたい。